

鳥取県の地震

2020年（令和2年）9月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	1
震度分布図	2
(3) 地震・津波の知識	
津波防災の日／世界津波の日	3

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

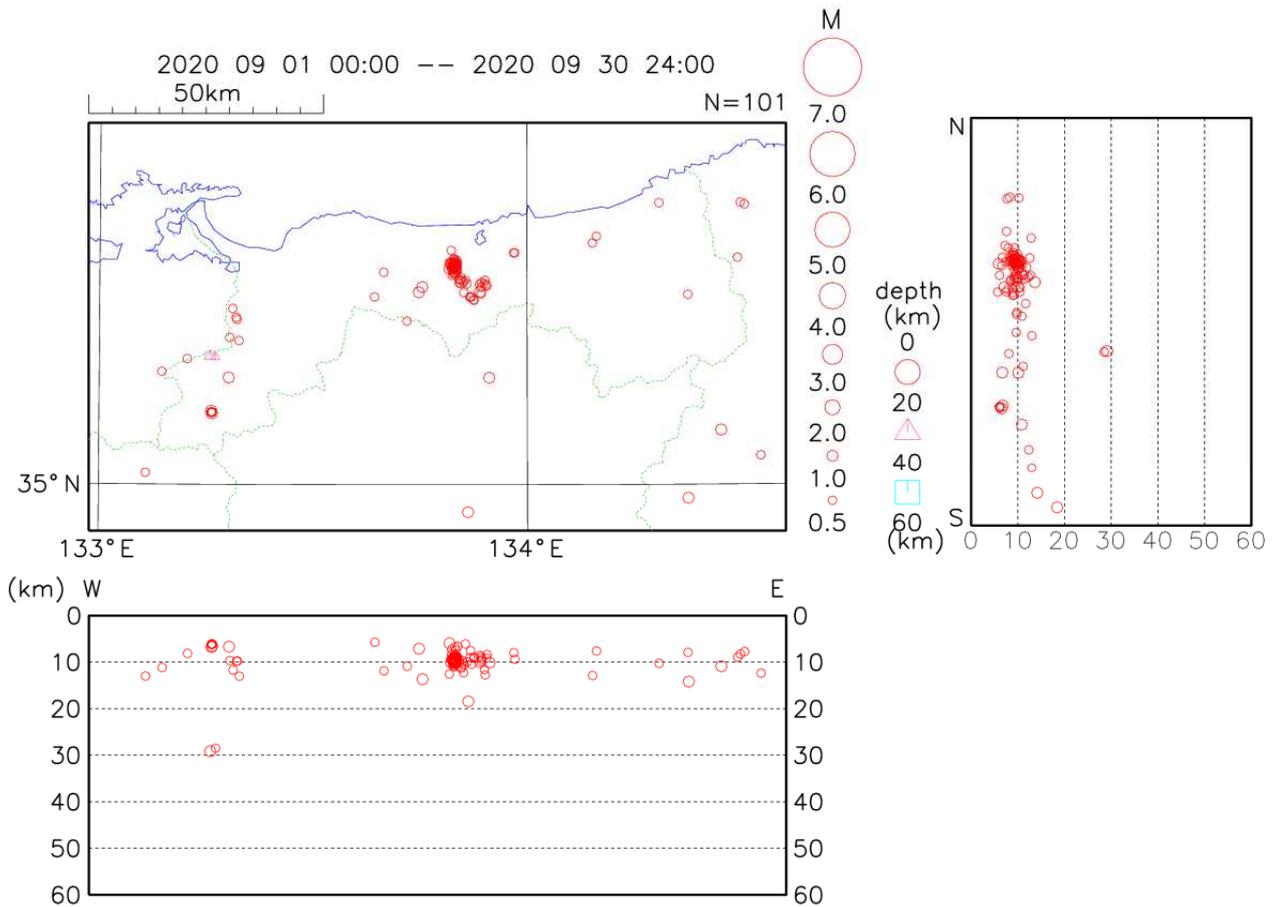
・本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。

大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概況]

2020年9月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回（先月は0回）でした。

4日09時10分 福井県嶺北の地震（深さ7km、M5.0、上図の範囲外）により、福井県坂井市で震度5弱を観測したほか、東海・甲信越・北陸・近畿・中国地方にかけて震度4～1を観測しました。鳥取県では鳥取市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震はありませんでした（前月は8回）。

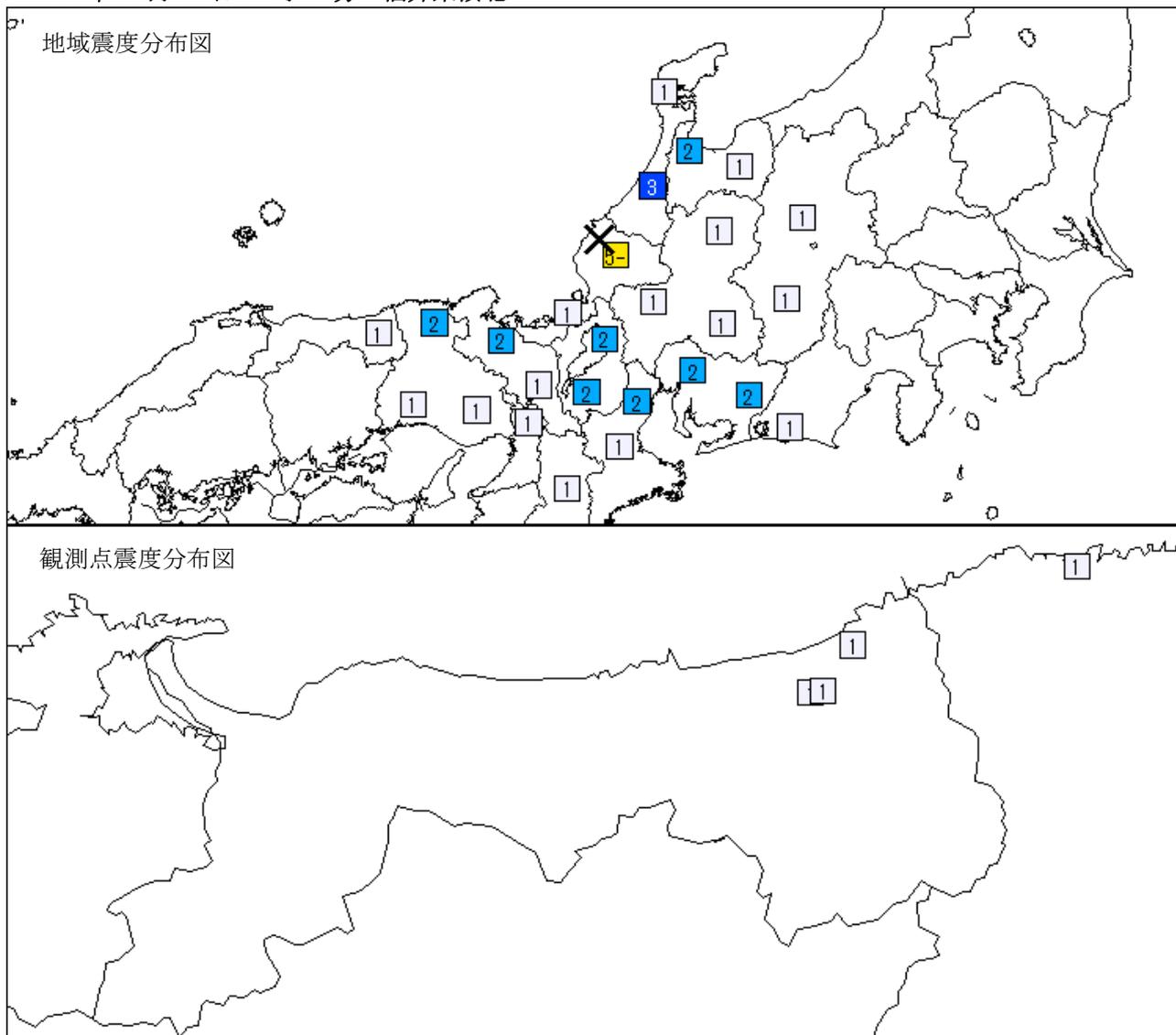
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

発震時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2020年09月04日09時10分	福井県嶺北	36°06.9' N	136°11.3' E	7km	M5.0
----- 地点震度 -----					
鳥取県 震度 1 : 鳥取市吉方, 鳥取市吉成*, 鳥取市福部町細川*					

*印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]
2020年09月04日09時10分 福井県嶺北



(3) 地震・津波の知識

津波防災の日／世界津波の日

毎年11月5日は、日本国内では「津波防災の日」、国際的には「世界津波の日」です。これは比較的最近定められたもので、まだまだご存知でない方もおられると思いますので、この機会に制定の経緯などをご紹介します。

まず、「津波防災の日」が定められたのは、西暦2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震による津波災害



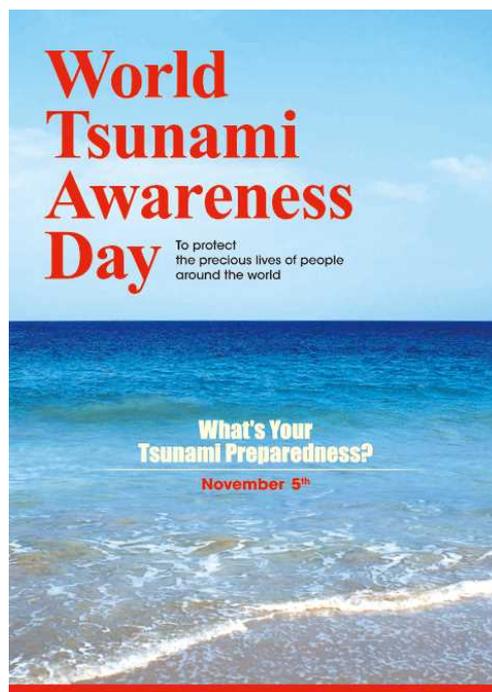
が契機となっています。甚大な被害を受けて、その3ヵ月後に津波対策を総合的かつ効果的に推進する目的で「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。この法律では観測体制の強化や被害予測、防災対策などが規定されていますが、防災対策の一環として、国民の間に広く津波防災についての理解と関心を深めることを目的に法第15条で「津波防災の日」を定めています。この条文の第2項で津波防災の日は「11月5日」と定められていますが、この日付は東北地方太平洋沖地震とは関係ありません。実は、安政南海地震が発生した日（旧暦の安政元年11月5日）なのです。

この日が選ばれた背景には、ひとつの学習教材があります。明治時代の小説家・日本研究者であるラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が執筆した“A Living God”を原作とする「稲むらの火」です。現在の和歌山県広川町で醤油商を営んでいた濱口梧陵による、安政南海地震の津波が当地を襲った際の偉業を題材とした物語で、津波の恐ろしさや、地震後の早期避難の重要性を伝える優れた防災教材です。そのため、教科書への掲載だけでなく、マンガやアニメなどさまざまなメディアで紹介されており、津波防災のシンボルとして「津波防災の日」に結びつくこととなりました。

「稲むらの火」は海外にも広がっています。世界を震撼させた西暦2004年12月26日のスマトラ島沖地震による津波の後に、被災した国々の言語へ翻訳され現地の文化・環境に合わせてローカライズされた「稲むらの火」は、優れた津波防災教材として高く評価されています。また、2015年3月に東北地方太平洋沖地震から4年を迎えた仙台で採択された「仙台防災枠組2015-2030」のフォローアップとして、「世界津波の日」が日本を筆頭とする142カ国により提案され、2015年12月に国連総会で満場一致で決議されています。こ

こで「12月26日」でも「3月11日」でもなく「11月5日」が選ばれたのは、これを追悼・祈念の日とするのではなく、津波防災の推進を目指した“前向き”な記念日にしようとする意図が、積極的な行動によって多くの命を救う「稲むらの火」の物語と結びつき各国に受け入れられたためだったのです。

「世界津波の日」は、英語で“World Tsunami Awareness Day”と綴ります。“Awareness”はここでは「意識向上」という意味合いで使われていて、それを考慮すれば「世界津波防災意識向上の日」という意味になります。世界各地でさまざまなイベントが企画され、津波防災への関心を高める試みが行われています。これを機会にハザードマップなどを利用して皆さんのお住まいの地域における津波の危険性を知り、適切な避難場所や避難経路、正しい情報の入手手段の確認などを行って津波から命を守りましょう。



世界津波の日パンフレットの表紙
(出典：外務省)

- 内閣府／特集 津波防災の日
http://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h26/76/special_01.html
- 内閣府／津波防災特設サイト
<http://tsunamibousai.jp/>
- 外務省／世界津波の日
https://www.mofa.go.jp/mofaj/ic/gic/page25_000294.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和2年9月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL https://www.jma-net.go.jp/tottori/tottori_jishin.htm

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313